

第三者評価結果の公表事項(母子生活支援施設)

① 第三者評価機関名

公益社団法人福岡県社会福祉士会

② 評価調査者研修修了番号

SK2021265 S2021102

③ 施設の情報

名称：真愛園光寮	種別：母子生活支援施設
代表者氏名：小嶋 寿弘	定員（利用人数）：15 世帯
所在地：非公開	
TEL：非公開	ホームページ：
【施設の概要】	
開設年月日	昭和 26 年 3 月 1 日
経営法人・設置主体（法人名等）	社会福祉法人 真愛園
職員数	常勤職員：6 名 非常勤職員 名
有資格 職員数	(資格の名称) 名 保育士 2 名 調理師 1 名
施設・設備 の概要	(居室数) 母子室 15 室 集会室 (設備等)

④ 理念・基本方針

人の助かりを願う

- ・世のお役に立たせていただきます。
- ・お母さんとお子さんの独立心を損なうことなく支援します。
- ・個人の尊重を保持しつつ、心身ともに健やかに育成されるよう支援します。

⑤ 施設の特徴的な取組

少数の世帯でアットホームな雰囲気づくりに努めています。
少数の世帯なので、少数の職員で担当制をとらず、職員全員でそれぞれの職員が責任をもって母子全員の支援を心掛けています。
バックボーンに宗教があり、強制にならないようにしながら福祉マインドが職員に涵養されています。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（和暦）	令和5年8月1日（契約日）～ 令和6年2月14日（評価結果確定日）
前回の受審時期 （評価結果確定年度・和暦）	令和3年度

⑦総評

◇特に評価の高い点

- ・少数の世帯で、アットホームな雰囲気を持っています。
- ・少数の職員で、細かく情報を共有しています。
- ・職員が地域の中で消防団に加入するなど、地域の一員としての活動に貢献しています。
- ・管理棟に男性職員が住み込んでいて、安全・安心が図られています。
- ・職員の勤続年数が長い。
- ・理念が施設のバックボーンとなっていて、福祉の原点を見ることができます。

◇改善を求められる点

- ・職員採用はSNSを駆使するなど、現代の若者に合わせた採用方法の検討が期待されます。
- ・法人全体（保育所等）も含めて総合的な人事管理（採用・昇進・異動など）の構築、そのための給与規定の見直しを望みます。
- ・施設種別の面から情報の公開が難しい点は理解しますが、子育ての専門機関として、法人内保育所と連携した相談体制の構築など、共生社会の実現に寄与する、施設の公益性を地域の方々に理解してもらおうという観点からの積極的な活動を期待します。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

施設長として初めて第三者評価を受審させていただき、調査員の方には、丁寧な聞き取り、分かりやすいアドバイスを頂きありがとうございました。

今後は、改善委員会を立ち上げて進めるほどの職員数がないので、施設長としてリーダーシップをとり、各項目の評価結果のコメント欄に分かりやすく頂いたアドバイスを基に、項目別に改善点を職員に投げかけ、改善案を立て毎月の職員会議等で検討し、改善を進めて行きます。

法人の理念である「人の助かりを願う」を現し、利用者の方に信頼を頂き、喜んで頂けるよう、改善を続けさせて頂きます。

このような貴重な機会を頂き、ありがとうございました。

⑨第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

(別紙)

第三者評価結果（母子生活支援施設）

※すべての評価細目（共通評価基準 45 項目・内容評価基準 25 項目）について、判断基準（a・b・c の 3 段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

共通評価基準（45 項目）

評価対象 I 支援の基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-1 (1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-1 (1) -① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<コメント> ○理念・基本方針が明示され、朝礼で唱和するなど、職員にも周知されています。また、掲示板に掲示して、重要事項説明書にも記載して利用者にも周知が図られています。		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-1 (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-1 (1) -① 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
<コメント> ○全母協通信、全母協情報等から情報を得て、動向の把握が図られています。 ○民生委員との交流から地域の福祉状況の把握に努めています。 ○把握した情報やデータをもとにそれを分析して地域の特徴・変化等の課題を抽出・分析するなどの取組が期待されます。		
3	I-2-1 (1) -② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	b
<コメント> ○人材の採用が経営課題となっていて、採用に向けて努力をされています。 ○今後は SNS の活用など、若者世代にあった採用方法を検討されることを望みます。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-1 (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-1 (1) -① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
<コメント> ○中・長期計画は策定されています。 ○中・長期計画は具体的な数値目標を示して単年度ごとに評価・分析を行い課題の改善状況を検討していくことが期待されます。		

5	I—3—(1)—② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
<p><コメント></p> <p>○単年度の事業計画が作成されています。</p> <p>○単年度の事業計画の反省は行事計画のみで、その他の計画、学習支援、就労支援、子どもに対する支援、アフターケア、などに対する反省についてもより良い計画を立てる上からもなされることを期待します。</p>		
I—3—(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I—3—(2)—① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<p><コメント></p> <p>○職員会議での議論や利用者アンケートをもとに年間行事予定が作成されています。</p> <p>○事業計画は年間行事予定だけでなく、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されることが期待されます。</p>		
7	I—3—(2)—② 事業計画は、母親と子どもに周知され、理解を促している。	a
<p><コメント></p> <p>○毎月開催される母の会にて、事業計画の説明が行われています。</p> <p>○行事につきましては印刷物を配布しています。</p>		

I—4 支援の質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I—4—(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I—4—(1)—① 支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<p><コメント></p> <p>○自立支援計画書をもとに、職員会議の中のケース会議で支援内容や方法が検討されています。</p> <p>○毎年自己評価を実施して、第三者評価を受審しています。</p> <p>○自己評価、第三者評価の結果を組織的に分析・検討する仕組みが作られることが期待されます。</p>		
9	I—4—(1)—② 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
<p><コメント></p> <p>○評価結果について職員間で話し合いが行われています。</p> <p>○評価結果を分析して、計画的に改善していく取組が期待されます。</p>		

評価対象Ⅱ 施設の運営管理

Ⅱ—1 施設長の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ—1—(1) 施設長の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ—1—(1)—① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<p><コメント></p> <p>○施設長は法人理念のもと熱い気持ちで施設運営にあたっています。</p> <p>○職員職務分掌で役割と責任について明確にしています。利用者にも入所のしおりや重要事項説明書にて説明。また母の会に毎回出席して説明しています。</p>		

11	Ⅱ－１－（１）－② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<コメント> ○施設長は行政や種別の施設長会の研修に積極的に参加して研鑽に努めています。 ○ハラスメントに対する相談窓口の設置などの仕組みもあります。		
Ⅱ－１－（２）施設長のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ－１－（２）－① 支援の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
<コメント> ○施設長はケース会議で支援内容を検討して、職員全員で協力して進めるという点でリーダーシップを発揮しています。 ○職員や入所者と積極的にコミュニケーションを取って職員の手本となっています。積極的に研修に参加して自己研鑽に努めています。		
13	Ⅱ－１－（２）－② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
<コメント> ○働きやすい環境を整えるため、職員の要望に配慮した勤務予定を立てています。 ○職員の意見を集約して理事会や三施設長会で発言しています。 ○エアコンの入れ替えを計画的に行い、働きやすい環境整備に務めています。		

Ⅱ－２ 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ－２－（１）福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ－２－（１）－① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
<コメント> ○研修計画をもとに職務分掌や経験年数を考慮して研修に参加しています。 ○福祉人材の確保の課題は当法人だけの問題ではありませんが、時代に合わせた、例えば SNS を使った募集活動などの検討を期待します。		
15	Ⅱ－２－（１）－② 総合的な人事管理が行われている。	b
<コメント> ○期待する職員像は明確にされています。 ○人事管理基準を定めるなど、法人全体の総合的な人事管理制度の構築が図られることが期待されます。		
Ⅱ－２－（２）職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
<コメント> ○有給休暇の取得状況や残業時間の調査・把握が行われています。 ○職員の意向を汲んでワーク・ライフ・バランスに配慮した勤務がくまれています。 ○定期的に職員との個別面談の機会を設けて職員が相談しやすい仕組みを作っています。また、ストレスチェックを行うなど、職員のメンタルヘルスにも配慮が行われています。		
Ⅱ－２－（３）職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ－２－（３）－① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
<コメント> ○期待する職員像や求めている人材像、役割が明確にされています。 ○定期的に職員との面談を実施して目標を確認しています。 ○目標の進捗状況の確認や達成度の確認を行うなど、振り返りを行うことにより、より効果が期待されます。		

18	Ⅱ—2—(3)—② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
<コメント> ○期待する職員像は明確に示されています。 ○専門技術や専門資格の必要性についても明確になっています。 ○定期的に研修計画の評価と見直しが行われることを期待します。		
19	Ⅱ—2—(3)—③ 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	b
<コメント> ○階層別研修、職種別研修やテーマ別研修の受講機会が確保されています。 ○個別的なOJTも行われています。 ○スーパービジョンの体制を確立して、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組まれることが期待されます。		
Ⅱ—2—(4) 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ—2—(4)—① 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
<コメント> ○実習指導マニュアルを整備して、実習生を積極的に受け入れています。 ○実習指導者に対する外部研修は実習指導を客観的に振り返る機会として取り入れられることが望まれます。		

Ⅱ—3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ—3—(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ—3—(1)—① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
<コメント> ○ホームページに情報が公開されています。 ○施設の種別特性上、情報の公開が難しい点もありますが、可能な限り広報誌等で施設の活動を紹介するなど、工夫による情報公開により施設の存在意義を示す取組を期待します。		
22	Ⅱ—3—(1)—② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
<コメント> ○外部の公認会計士に依頼して監査・指導が行われています。 ○指名競争入札等、適正な会計処理が行われています。		

Ⅱ—4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ—4—(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ—4—(1)—① 母親、子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
<コメント> ○施設職員が地域の消防団活動に参加、子ども・母親も地域の行事などに参加しています。 ○地域の集会に施設の広い部屋を貸しています。 ○社会資源ファイルを整備して職員・利用者が利用しやすいようにしています。		
24	Ⅱ—4—(1)—② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
<コメント> ○ボランティア受け入れマニュアルが整備されています。 ○コロナが流行して後、行事ボランティアとの交流も途絶えていますが、施設をオープンにするという意味からも、これからも積極的なボランティアの募集が行われることが望まれます。		

Ⅱ—4—（2）関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ—4—（2）—① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
<p><コメント></p> <p>○社会資源ファイルを作成して、迅速に連携が取れるようにしています。</p> <p>○退所後のアフターフォローのため施設の担当者や困ったときの連絡先をわかりやすくパンフレットにして配布しています。</p> <p>○職員会議や引継ぎノートで情報の共有に努めています。</p>		
Ⅱ—4—（3）地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ—4—（3）—① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	b
<p><コメント></p> <p>○地域の集会室として施設の部屋を貸しだしています。また災害が発生した場合の避難所としての活用が見込まれています。</p> <p>○子育ての専門機関として、今後は、法人全体（保育所）と連携した専門性を活かした相談事業などの活動が期待されます。</p>		
27	Ⅱ—4—（3）—② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
<p><コメント></p> <p>○ライフレスキュー事業や災害ボランティアへ参加しています。災害時の備蓄品を整備しています。</p> <p>○地域の福祉ニーズの把握に努めて、施設の公益性を地域の方々に理解してもらうという観点からの活動が望まれます。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な支援の実施

Ⅲ—1 母親と子ども本位の支援

		第三者評価結果
Ⅲ—1—（1）母親と子どもを尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ—1—（1）—① 母親と子どもを尊重した支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>○基本方針に「個人の尊重」を掲げて事務所・掲示板・入所のしおりに明示、朝礼などで唱和しています。</p> <p>○権利擁護・虐待防止対応規程を整備しています。</p>		
29	Ⅲ—1—（1）—② 母親と子どものプライバシー保護に配慮した支援が行われている。	a
<p><コメント></p> <p>○業務マニュアルに緊急時以外は許可なく個人の居室に立ち入らないと明示しています。各居室はプライバシーが守られる仕組みになっています。</p>		
Ⅲ—1—（2）支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ—1—（2）—① 母親と子どもに対して支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
<p><コメント></p> <p>○入所のしおりはわかりやすく説明がされています。また希望者には施設見学を勧めています。</p> <p>○情報の提供につきましては適宜見直しが実施されています。</p>		

31	Ⅲ—1—(2)—② 支援の開始・過程において母親と子どもにわかりやすく説明している。	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○入所のしおりは、分かりやすい言葉を使うなど配慮されています。 ○丁寧な説明を心掛け、利用者の自己決定を尊重する支援が行われています。 ○支援計画書など福祉サービスの提供とそれに対する同意はサインをもらうなど、書面上確認できるようにするというような工夫が望まれます。 		
32	Ⅲ—1—(2)—③ 支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○支援の内容や方向性の変更の際は丁寧な説明が行われています。 ○退所後のアフターフォローのため担当者を決める、連絡先の明記、わかりやすいパンフレットの配布等で、丁寧な対応がなされています。 		
Ⅲ—1—(3) 母親と子どもの満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ—1—(3)—① 母親と子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○母の会に出席して要望などを聴くようにしています。 ○意見や要望の受付方法を重要事項説明書に明示しています。 ○アンケート結果を分析・検討して満足度向上の具体的な成果に結びつくような取組が望まれます。 		
Ⅲ—1—(4) 母親と子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ—1—(4)—① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○苦情解決の仕組みが構築され、重要事項説明書に仕組みを明記、掲示板にも明記されています。 ○苦情・相談の回答は皆さんにわかるように報告がなされています。 		
35	Ⅲ—1—(4)—② 母親と子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、母親と子どもに周知している。	a
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○事務所のドアポストをポストとしていつでも相談の受付ができるようにしています。また意見要望などの受付の流れが示されていて誰でも相談できることが伝えられています。 ○緊急時の受け入れ室で誰にも聞かれず、見られずに相談できる環境を整えています。 		
36	Ⅲ—1—(4)—③ 母親と子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ○日々のコミュニケーションを大事にしており、小さな変化に気が付けるように心がけています。 ○要望など解決に関する規定に手順が記載されていますが、できる限り、日々のコミュニケーションで解決ができるように工夫されています。 ○相談や意見があった場合は引継ぎノートに記載し共有しています。即時対応ができるように工夫されています。 ○マニュアル全体を年に一度見直しを行っています。 		

Ⅲ—1—(5) 安心・安全な支援の実施のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ—1—(5)—① 安心・安全な支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
<p><コメント></p> <p>○マニュアルは整備され、ヒヤリハット報告書も作成されています。今後、ヒヤリハットの用紙の様式変更予定とのことで、さらに気づきが増えることを期待します。</p> <p>○コンサルタントから不定期に配信される事例の情報収集や、施設長の集まり、母子支援施設の全国大会などから、情報を収集し、施設長がまとめて必要なものを朝礼で周知や回覧しています。</p> <p>○リスク管理に関しては職員会議で話をされていますが、委員会としての設置がないため、委員の設置や体制の整備を期待します。</p>		
38	Ⅲ—1—(5)—② 感染症の予防や発生時における母親と子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>○感染症対策マニュアルとコロナウィルス感染症対策マニュアルが作成され、一年に一度見直しを実施しています。</p> <p>○看護師がいないため、福岡県の感染症研修を活用しています。</p> <p>○コロナ流行以降、1日に2回、朝と昼に施設内の消毒を行っています。</p> <p>○感染症が発生した際には事務所に発生者数を掲示しており、利用者に伝わるよう工夫しています。</p> <p>○入所者がコロナに罹患した際には独立した居室を活用し、生活が居室内で実施できるように買い物などのサポートをしています。</p>		
39	Ⅲ—1—(5)—③ 災害時における母親と子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
<p><コメント></p> <p>○BCP マニュアルの作成、災害時の体制が整備されています。</p> <p>○事務所内に在宅有無の確認のための名札があり、避難遅れなどがないように工夫されています。</p> <p>○ここ数年続く水害に関しても検討されています。</p> <p>○備蓄品および、非常用の持ち出し袋が準備されています。</p>		

Ⅲ—2 支援の質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ—2—(1) 提供する支援の標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ—2—(1)—① 支援について標準的な実施方法が文書化され支援が提供されている。	a
<p><コメント></p> <p>○入所のしおり・重要事項説明書に利用者の権利とプライバシーに関する対応を明示しています。</p> <p>○対人援助のスキルに関する、明文化された文書はありませんが、業務マニュアルを整備し、OJTが実施されています。職員会議・引継ぎノートで情報を共有され、閲覧が可能になっています。</p>		
41	Ⅲ—2—(1)—② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
<p><コメント></p> <p>○半年ごとに自立支援計画を見直ししています。</p> <p>○検証・見直し利用者や複数の支援者で実施しています。</p> <p>○日々の支援方法について常に職員間で話し合いをしています。</p>		

Ⅲ—2—(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		
42	Ⅲ—2—(2)—① アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
<p><コメント></p> <p>○施設で作成されたアセスメント用紙を活用して、アセスメントを実施しています。</p> <p>○措置元や児童養護施設などと連携も計画に作成されており、施設のみならず、必要な連携機関と連携した内容を記録しています。</p>		
43	Ⅲ—2—(2)—② 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
<p><コメント></p> <p>○日々の支援状況を、個人の支援経過記録とともに日々の日誌、引継ぎノートに記載しており、職員で共有しています。</p> <p>○緊急に変更する場合は措置元と協力して検討しています。また、支援経過記録に記載しています。</p>		
Ⅲ—2—(3) 支援の実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ—2—(3)—① 母親と子どもに関する支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a
<p><コメント></p> <p>○記録用紙の記載方法を統一しています。</p> <p>○日々のミーティング及び、引継ぎノートも活用し、情報共有を行っています。</p> <p>○パソコンのデータは一元化しており、セキュリティ対策もしています。</p>		
45	Ⅲ—2—(3)—② 母親と子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
<p><コメント></p> <p>○個人情報管理規定に則り、保管・破棄、記録管理の責任者を設置しています。</p> <p>○パソコンデータはサーバー管理をしており、パソコンが盗難にあった際にもデータが守られるようにしています。</p> <p>○入所のしおり・重要事項説明書に記載しており、入所時に説明をしています。</p>		

内容評価基準（25 項目）

※「共通評価基準評価対象Ⅲ 適切な支援の実施」の付加項目

A—1 母親と子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

		第三者評価結果
A—1—（1）母親と子どもの権利擁護		
A①	A—1—（1）—① 母親と子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
<コメント> ○権利擁護・虐待防止規定が設置され、理解できるよう整備しています。 ○市が主催の人権研修に参加し、伝達講習をしています。 ○日頃の対応に関しても気になる事があれば注意し合える関係性を築いています。 ○母子の信仰状況に関しても把握はしていますが、深く立ち入らないようにしています。		
A—1—（2）権利侵害への対応		
A②	A—1—（2）—① いかなる場合においても、職員等による暴力や脅かし、人格的辱め、心理的虐待、セクシャルハラスメントなどの不適切なかかわりが起こらないよう権利侵害を防止している。	a
<コメント> ○職員の面談時に、自己チェックを行っています。 ○言葉の選び方なども含めて、職員間で注意・話し合いができる様な組織づくりをしています。 ○母子ともに対して、男性職員は複数名対応や発言・声の大きさ・表情も含めて最大限の配慮を図って対応しています。		
A③	A—1—（2）—② いかなる場合においても、母親や子どもが、暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切な行為を行わないよう徹底している。	a
<コメント> ○母子の入所前の背景や、特性に応じて、対応しています。 ○学校との連携や日々の対応の中で気になる事があれば個別に注意をするようにしています。		
A④	A—1—（2）—③ 子どもに対する暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a
<コメント> ○日々、母子の様子が確認できるような仕組みづくりをしています。 ○定期的な居室点検を行い、子どもが適切な環境で生活ができているか、ネグレクトになっていないかを含めて確認しています。		
A—1—（3）母親と子どもの意向や主体性の配慮		
A⑤	A—1—（3）—① 母親や子どもが、自分たちの生活全般について自主的に考える活動（施設内の自治活動等）を推進し、施設における生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。	a
<コメント> ○施設内の自治活動として、母の会・子どもの会を入所者で運営しています。記録・進行を含めて母子が主体となっており、施設はサポートをしています。 ○施設の特性上、限られた対応になりますが、寮回り清掃や不燃物当番などの運用を母子に任せすることで、自立に向けて取り組んでいます。 ○長期休み前に子ども会を行い、勉強や行事に関しての話し合いを実施していますが、強制しないように配慮しています。		

A—1—（4）主体性を尊重した日常生活		
A⑥	A—1—（4）—① 日常生活への支援は、母親や子どもの主体性を尊重して行っている。	a
<p><コメント></p> <p>○利用者の自己決定を尊重し、話し合いを行っています。アセスメント用紙で本人の長所を確認できるようにしています。</p> <p>○関係性づくりと自己決定を尊重する考えから、誘導はしないように気を付けており、利用者の思いを優先するようにしています。</p>		
A⑦	A—1—（4）—② 行事などのプログラムは、母親や子どもが参加しやすいように工夫し、計画・実施している。	a
<p><コメント></p> <p>○親子で参加ができる外出行事が多く計画されています。</p> <p>○行事に関するアンケートを行い、計画作成に活用しています。</p>		
A—1—（5）支援の継続性とアフターケア		
A⑧	A—1—（5）—① 母親と子どもが安定した生活を送ることができるよう、退所後の支援を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>○アフターフォローの文章を作成し、退所時に渡せるようにしています。</p> <p>○退所者の名簿を作成し、状況を把握次第更新しています。</p> <p>○退所後も近隣で生活している家庭を中心に社会資源一覧などを活用し、対応していますが、退所後の支援計画の作成まではいたっていません。今後作成することを望みます。</p>		

A—2 支援の質の確保

A—2—（1）支援の基本		
A⑨	A—2—（1）—① 母親と子どもそれぞれの個別の課題に対応して、専門的支援を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>○経済面や進路を含めて、ケース会議や日々のコミュニケーションを含めて、支援を計画しています。</p> <p>○それぞれの課題に則して対応内容を検討しています。担当制ではありませんが、母子それぞれの課題を常に共有し、全職員がチームとして支援ができるようにしています。</p>		
A—2—（2）入所初期の支援		
A⑩	A—2—（2）—① 入所に当たり、母親と子どもそれぞれのアセスメントに基づき、生活課題・ニーズを把握し、生活や精神的な安定に向けた支援を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>○措置元と連携をしっかりと行うことで、母子の特性に合わせて入所時から、安心して生活ができるように働きかけを行っています。</p> <p>○各居室は、独立しておりプライバシーを確保しています。</p> <p>○精神障害のある母子の対応はなされていますが、身体に障害のある母親や子どもに対しての対応として、エレベーターなどの設備の設置の検討が望まれます。</p>		

A—2—(3) 母親への日常生活支援		
A⑪	A—2—(3)—① 母親が、安定した家庭生活を営むために必要な支援を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>○面談によって、明らかにされた課題に関して、家計簿支援や料理教室、買い物支援などの生活に向けてのサポートを行っています。</p> <p>○部屋点検を活用して部屋の様子を見ることで、必要な支援の課題などを再確認しています。</p> <p>○心や体の健康に不安をもつ母子に関しては、普段からの観察によって、相談ができない人にも声掛けを行うことで必要な支援の確認を行っています。</p>		
A⑫	A—2—(3)—② 母親の子育てのニーズに対応するとともに、子どもとの適切なかわりができるよう支援している。	a
<p><コメント></p> <p>○母親からの発信が少ないこともあり、普段の観察や母子及び関係者との機関とのコミュニケーションを通して、不安や悩みに関するアプローチ、虐待や不適切な関わりを発見できるようにしています。</p> <p>○運転ができない母親のために、運転者の確保で送迎支援を行っています。精神障害がある母親の支援もあるため、同行支援なども行っています。</p>		
A⑬	A—2—(3)—③ 母親が安定した対人関係を築くための支援を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>○日頃の様子を、記録しており、こまめにコミュニケーションをとる事で、信頼関係構築に努めています。</p> <p>○抱えている課題も含めて、話を聞くことや心療内科など、専門家の支援につながるようにしています。</p>		
A—2—(4) 子どもへの支援		
A⑭	A—2—(4)—① 健やかな子どもの育ちを保障するために、養育・保育に関する支援を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>○学習室に絵本やおもちゃ、遊具や年齢に合わせた椅子・机などを準備しており、宿題や遊ぶ環境を設置しています。</p> <p>○特に男性職員の対応には声のトーンや態度なども含めて、DVを経験している子どもにとって安心できるように態度で示すように配慮しています。</p> <p>○トラウマに関する事など、心のストレスに関する研修を受けることで、子どもの支援に活かしています。</p>		
A⑮	A—2—(4)—② 子どもが自立に必要な力を身につけるために、学習や進路、悩み等への相談支援を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>○習い事や学習に関しては自主性に任せています。子どもが帰寮した際には、宿題の声掛けを行い、学習室は自由に利用できるようにしています。職員が中心となって、学習指導を行っています。学習ボランティアの募集はしていますが、立地環境から実際に学習ボランティア利用までは至っていません。</p> <p>○タブレット学習の普及に伴い、各家庭でWi-Fi設置は制限していません。環境が整わない家庭のために、学習室でもインターネット接続を可能としています。</p> <p>○進学を希望する家庭には、学費の負担軽減のための奨学金などの案内を行っています。</p>		

A⑯	A—2—(4)—③ 子どもに安らぎと心地よさを与えられるおとなのかかわりや、子どもどうしのつきあいに配慮して、人との関係づくりについて支援している。	b
<p><コメント></p> <p>○子ども会や地域行事を通して、他者との関わりの機会を作っています。</p> <p>○職員が子どもに寄り添いながら対応する事を意識しており、態度や言葉はお互い注意し合いながら対応しています。</p> <p>○専門的なプログラムに関しては現在取り入れていませんが、今後機会があれば参加することを期待します。</p>		
A⑰	A—2—(4)—④ 子どもの年齢・発達段階に応じて、性についての正しい知識を得る機会を設け、思いやりの心を育む支援を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>○年に一度外部講師を招いての性教育を実施しています。</p> <p>○低学年に向けては、絵本を使用し、子どもの疑問や不安に対応できるようにしています。</p>		
A—2—(5) DV被害からの回避・回復		
A⑱	A—2—(5)—① 母親と子どもの緊急利用に適切に対応する体制を整備している。	a
<p><コメント></p> <p>○緊急一時保護マニュアルの整備をしています。日常生活に必要なものはある程度準備されており、いつでも対応できる体制にしています。</p> <p>○区域外就学も対応しており、母子の置かれた環境で最良の選択ができるように支援しています。</p>		
A⑲	A—2—(5)—② 母親と子どもの安全確保のために、DV防止法に基づく保護命令や支援措置が必要な場合は、適切な情報提供と支援を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>○15台防犯カメラの設置をしており、事務所で確認できるようにしています。</p> <p>○法テラスや弁護士、家庭裁判所へ同行支援を行い、対応しています。</p>		
A⑳	A—2—(5)—③ 心理的ケア等を実施し、DVの影響からの回復を支援している。	a
<p><コメント></p> <p>○県や母子生活支援施設の研修会を通してDVやトラウマに関する研修を受け、知識向上に努めています。</p> <p>○スクールソーシャルワーカーと毎月情報交換を行っています、来年度より、心理カウンセラーとの情報交換を計画しています。</p> <p>○自助グループや外部の支援団体の情報を社会資源ファイルに共有しています。</p>		
A—2—(6) 子どもの虐待状況への対応		
A㉑	A—2—(6)—① 被虐待児に対しては虐待に関する専門性を持ってかかわり、虐待体験からの回復を支援している。	b
<p><コメント></p> <p>○日々のコミュニケーションの際、特に男性職員は子どもたちへ配慮を行った対応をすることで、信頼関係を築いた支援ができるようにしています。</p> <p>○医療機関や措置元、児童相談所などの関係機関との必要な情報交換、必要な支援を行っています。</p> <p>○来年度以降に心理カウンセラーとの連携予定があるため、専門的なケアの充実を期待します。</p>		

A—2—(7) 家族関係への支援		
A⑳	A—2—(7)—① 母親や子どもの家族関係の悩みや不安に対する相談・支援を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>○日頃のコミュニケーションで相談に応じやすい環境づくりをしています。</p> <p>○ペアレントトレーニングを活用できるように支援しています。</p> <p>○必要に応じて措置元や弁護士と相談しながら他の親族との関係調整を進めています。</p>		
A—2—(8) 特別な配慮が必要な母親、母親と子どもへの支援		
A㉓	A—2—(8)—① 障害や精神疾患、その他の配慮が必要な母親と子どもに対する支援を適切に行い、必要に応じて関係機関と連携している。	a
<p><コメント></p> <p>○障がいや精神疾患のある母子に対して、関係機関と連携し支援をしています。</p> <p>○外国人が入所された際にはアジア女性センターの通訳を行っている機関に繋いでいます。</p>		
A—2—(9) 就労支援		
A㉔	A—2—(9)—① 母親の職業能力開発や就労支援を適切に行っている。	a
<p><コメント></p> <p>○生活保護の就労支援者との連携や、ハローワークの情報収集、就活のサイトやエージェントも活用しながら、母親の意見を尊重できるように支援しています。</p> <p>○職員の勤務体制を整え、病後保育・学童保育や保育園の送迎支援なども行っています。</p>		
A㉕	A—2—(9)—② 就労継続が困難な母親への支援を行い、必要に応じて職場等との関係調整を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>○毎日のコミュニケーションを通して、母親のストレス状況などにも気を配っています。</p> <p>○子どもの預かりなどを行うことで就労が継続できるように支援をしています。</p> <p>○障がいのある母親には就労支援事業の活用を行っています。</p> <p>○職場に入所をしていることを伝えていない母親等への連絡は配慮しながら行っています。</p>		